

令和7年度三重県沿岸種資源評価

イセエビ



資源水準・動向

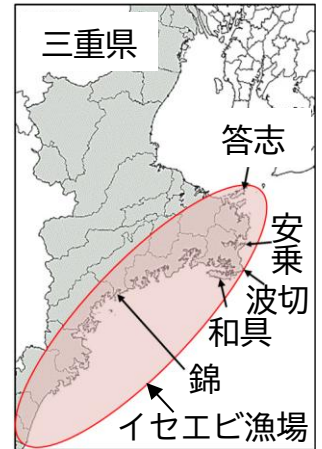
中位・減少

生物情報

- 産卵期は5～7月で、産卵場は親エビが分布する岩礁域、浮遊生活は約1年間。
- 満2歳で頭胸甲長42～45 mm、満3歳で頭胸甲長56～62 mm、満4歳で尾叉長65～74 mmになる。
- 肉食性で、小型の甲殻類や貝類等を餌にして成長する。

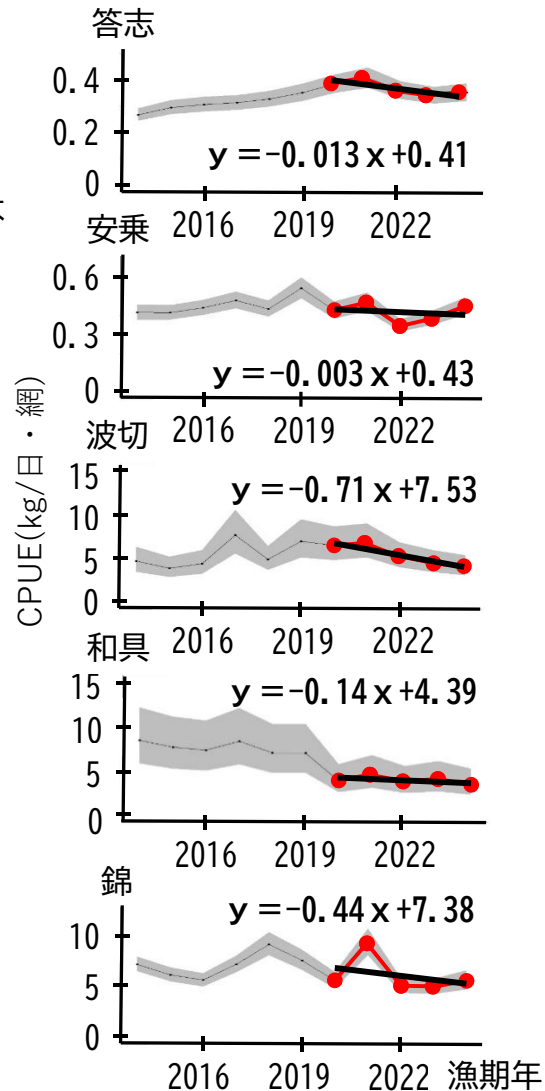
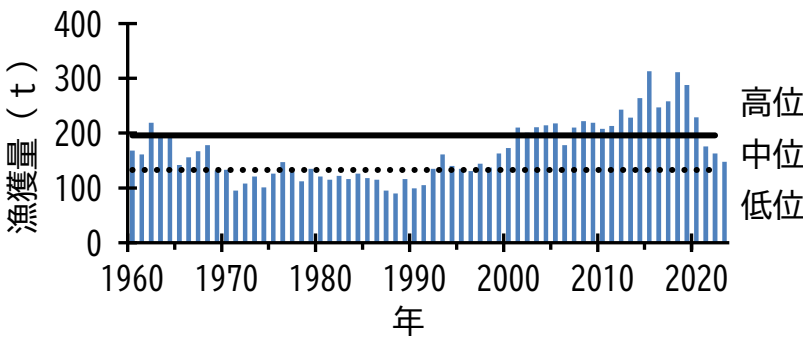
漁業の特徴

- 漁獲のほとんどが伊勢湾口から熊野灘海域で、刺し網で漁獲される。
- 漁期は10月1日～4月30日（鳥羽市離島地域以北の海域では9月16日～4月30日）
- 漁獲の主体は満3歳。
- 市町別漁獲量では志摩市が最も多い（県内漁獲量の41%：2024年）
- 銘柄別（小、中、特大等）に分けられて水揚げされる。



資源状態

- 三重県漁獲量の推移から、資源水準は「中位」とした。
- 答志・安乗・波切・和具・錦地区の刺し網の標準化CPUE（漁獲量の最も多い10月（答志は9月）の中銘柄（答志は大銘柄、錦は小銘柄）の漁獲量に水温と月齢データを加えて解析）から、資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- 漁期制限（10月～4月）及び制限頭胸甲長42mm以下（公的規制）

将来考えられる資源管理の取組

- 制限頭胸甲長の引き上げ
- 操業漁場、漁期の制限
- 共同操業の推進